

国 語

科目名	単位数	学 科	学 年
国語表現	2単位	農業科 (畜産科)	2 年

教科書	国語表現 (大修館書店)	副教材	意味から学ぶ頻出漢字 (第一学習社)
-----	--------------	-----	--------------------

科目の目標	国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。
-------	--

	学 習 項 目	学 習 の ね ら い
1 学期	1 書いて伝える 表現への扉1 整った文を書く わかりやすい文を書く 文のつなぎ方 絵や写真を見て書く それでいいです 敬語は身だしなみ グラフを読む①②他	・目的や場に応じて、言葉遣いや文体など表現を工夫して効果的に話したり書いたりする。
2 学期	2 小論文・レポート入門 表現への扉2 レポートを書く 小論文とは何か 発想を広げて書く ファストフィッシュ グラフを読む③～⑤ 再生は日常生活から 情報化社会と考える精神	・国語における言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割について理解を深める。 ・語彙を豊かにし、自分の文章に役立てる。
3 学期	3 自己PRと面接 表現への扉3 自分を見つめて 将来の自分を見つめよう 志望動機をまとめよう 夢を語ろう なりたいモデルを見つけよう 働くことの意味	・自分を見つめ、将来の生き方や社会のあり方について考えを深める。
学習のポイント	1 知らない言葉はすぐに辞書を引いて調べ、自分の言葉として使えるようにしよう。 2 話題や題材に応じて情報を収集し、分析して、自分の考えを深めよう。 3 自分の考えていることを文章や言葉で正確に表現できるようにしよう。	
備考		

評価の観点	関心・意欲・態度	国語に興味を持ち、言語生活を豊かにしようと努力している。また、各ジャンル、各時代の作品に親しみ、理解しようと努力している。			
	話す・聞く能力	自分の意見を筋道立てて、より効果的に発表できる。また、人の意見を聞きながら、自分との共通点や相違点などをまとめることができる。			
	書く能力	相手や目的に応じた題材を選び、文章の構成を考え、的確な語句を用い、効果的な表現を取り入れて、丁寧に文章を書くことができる。			
	読む能力	文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、作者の意図を捉えたりしている。			
	知識・理解	相手や目的に応じた題材を選び、文章の構成を考え、的確な語句を用い、効果的な表現を取り入れて、丁寧に文章を書くことができる。			

定期考査実施予定	1学期中間	1学期末	2学期中間	2学期末	学年末
	○	○	○	○	○

評価方法	定期考査、課題提出、授業態度等を総合的に評価する。 ○ 課題提出 (課題への取組状況の確認) ○ 授業態度 (真面目な態度、積極的な取組)
------	---

地理歴史

科目名	単位数	学科	学年
世界史A	2単位	畜産科	2年

教科書	世界の歴史世界史A (山川出版社)	副教材	
-----	-------------------	-----	--

科目の目標	近現代史を中心とする世界の歴史を諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連づけながら理解させ、現代の諸課題を歴史的観点から考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。
-------	--

	学習項目	学習のねらい
1 学期	序 人類の歴史の始まり 第1部 世界の一体化と日本 第1章 世界の諸文明 第2章 世界の一体化の始まり	・地域世界の形成と発展・特徴を理解する。 ・地球規模で世界が一体化していく過程と日本の関わりについて理解する。
2 学期	第3章 近代の世界 第2部 地球社会と日本 第1章 現代の始まりと帝国主義 第2章 二つの世界大戦	・近現代世界の特質を理解する。 ・二つの世界大戦がもたらしたものについて理解する。
3 学期	第3章 平和と冷戦 第4章 現代世界と日本	・20世紀後半の世界と日本の課題について学ぶ。
学習のポイント	1 教科書をしっかり読むとともに、史料や図版等にも注意しよう。 2 ゴシック体の単語をただ単に暗記するのではなく、歴史の流れの中で理解できるようにしよう。 3 歴史的用語、人名は漢字で書けるようにしよう。 4 テレビや本で歴史的なものに注意しておき、率先して見たり読んだりしよう。	
備考		

評価の観点	関心・意欲・態度	出席状況や授業の態度、ノート・プリントの点検などを総合的に評価する。			
	思考・判断・表現	定期考査や長期休業中の課題を通して、歴史的事項の説明やその事象に至る歴史的過程を表記させ、それを評価する。			
	技能	授業中の発表内容や長期休業中の課題等で表現力やまとめ方を評価する。			
	知識・理解	定期考査で基本的事項の理解を評価する。			

定期考査実施予定	1学期中間	1学期末	2学期中間	2学期末	学年末
	○	○	○	○	○

評価方法	定期考査、ノート提出、授業態度等を総合的に評価する。 ○ ノート提出 (予習・復習及び整理状況の確認) ○ 授業態度 (まじめな態度、積極的な発表) ○ 小テスト (一問一答テスト・復習テストなど) ○ 課題提出 (日常の課題及び長期休業中の課題)
------	--

数 学

科目名	単位数	学 科	学 年
数学 I	2単位	農業科 (畜産科)	2 年

教科書	高校数学 I (実教出版)	副教材	ステップノート数学 I (実教出版)
-----	---------------	-----	--------------------

科目の目標	基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。
-------	--

	学 習 項 目	学 習 の ね ら い
1 学 期	3章 三角比 三角比 三角比の応用	・直角三角形の辺の比を用いて、さまざまな図形の問題を解く。
2 学 期	3章 三角比 三角比の応用 4章 集合と理論 集合 命題と証明	・物事を理論的に考え、問題を解いたり、証明したりする。
3 学 期	5章 データの分析 データの整理 データの分析	・身の回りのデータを分析するためのまとめ方を学ぶ。
学 習 の ポ イ ン ト	1 第3章は、三角定規の2種類の直角三角形を覚えておく必要があります。角の大きさと各辺の比を正確に覚えておきましょう。 2 第5章は、データを分析する上で扱う数値について学習します。そのためには、言葉の意味や計算方法を覚える必要があります。	
備 考		

評 価 の 観 点	関心・意欲・態度	授業態度・出席状況およびノートや副教材等の提出物状況を評価
	思考・判断・表現	授業時における質問に対する対応や課題等の内容を評価
	技能	定期考査および単元テストから、問題を処理する能力を評価
	知識・理解	定期考査および単元テストから、基本的な考え方、原理、法則、用語、記号の意味の理解を評価

定期考査	1学期中間	1学期末	2学期中間	2学期末	学年末
実施予定	○	○	○	○	○

評 価 方 法	定期考査、ノート提出、授業態度等を総合的に評価する。 ○ ノート提出 (予習・復習及び整理状況の確認) ○ 授業態度 (まじめな態度、積極的な発表) ○ 小テスト (単元毎の小テストなど) ○ 課題提出 (日常の課題及び長期休業中の課題)
---------	---

理 科

科目名	単位数	学科	学年
生物基礎	2単位	農業科(畜産科)	2年

教科書	高等学校 改訂新生物基礎(第一学習社)	副教材	改訂ネオパルノート生物基礎
-----	---------------------	-----	---------------

科目の目標	生物とそれを取り巻く環境に対する関心を高め、その中に問題を見だし意欲的に探究する活動を通して、規則性を発見したり課題を解決したりする方法を習得させる。
-------	---

	学 習 項 目	学 習 の ね ら い
1 学 期	第1章 生物の特徴 生物にみられる多様性と共通性 細胞とエネルギー 第2章 遺伝子とその働き 遺伝子とDNA 遺伝子の働き	・生物の多様性と共通性を理解する。 ・遺伝子とその働きを理解する。
2 学 期	第2章 遺伝子とその働き 遺伝子の発現 生体内のタンパク質 第3章 体内環境と恒常性 生物の体内環境 体内環境を維持するしくみ 第4章 植生の多様性と分布 植生と遷移	・体内環境と恒常性について理解する。 ・植生と遷移について理解する。
3 学 期	第4章 植生の多様性と分布 気候とバイオーム 第5章 生態系とその保全 生態系と物質循環 生態系のバランスと保全	・気候とバイオームについて理解する。 ・生態系の物質循環、バランスと保全について理解する。
学 習 の ポ イ ン ト	<ul style="list-style-type: none"> ・生物基礎を学習することは、自分のからだの成り立ちや現象を理解することにつながってきますので、観察・実験には興味をもって、主体的に取り組んでください。 ・勉強方法は、授業をしっかりと聞くことからはじまります。教科書、ノートに目を通して重要事項の復習を行ってください。それから演習プリント等で、それらを理解できているか確認してください。努力すれば、必ず成果は表れます。 	
備考		

評 価 の 観 点	関心・意欲・態度	生物に興味を持ち、生物の内容の理解に努めているか。
	思考・判断・表現	正しい科学的考え方のもとに現象理解が出来ているか。
	技能	生物の基礎知識から生物の現象を理解できるか。
	知識・理解	生物の用語と内容を覚え、生命現象に応用できるか。

定期考査	1学期中間	1学期末	2学期中間	2学期末	学年末
実施予定	○	○	○	○	○

評 価 方 法	定期考査、ノート提出、授業態度等を総合的に評価する。 <input type="checkbox"/> 定期考査(評価の中心) <input type="checkbox"/> ノート提出(整理状況及び工夫の確認) <input type="checkbox"/> 授業態度(教科に対して真摯で積極的か。) <input type="checkbox"/> 課題提出(週末課題及び長期休業中の課題)
---------	---

保健体育

科目名	単位数	学科	学年
体育	2単位	畜産科	2年

教科書	最新高等保健体育 [改訂版] (大修館)	副教材	イラストでみる最新スポーツルール (大修館)
-----	----------------------	-----	------------------------

科目の目標	運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の技能を高め運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし、体の調子を整え、体力の向上を図り、公正、協力、責任などの態度を育て、健康・安全を確保して、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てさせる。
-------	---

	学習項目	学習のねらい
1 学期	体づくり運動 (通年) 集団行動 新体力テスト、陸上競技 球技Ⅰ [個人的技能、集団的技能、ゲーム及び審判法] 【男子】 (ソフトボール) 【女子】 (バレーボール) 体育理論 (運動やスポーツの技術と技能)	・ 自己の体力や生活に応じて取り組み、実生活に役立つ。 ・ ペースの変化に対応するなどして走る。
2 学期	球技Ⅱ [個人的技能、集団的技能、ゲーム及び審判法] 【男子】 (サッカー・卓球) 【女子】 (バスケットボール・テニス) 陸上競技 [中・長距離走] 校内マラソン大会 【男子】 8km 【女子】 4km 体育理論 (運動やスポーツの技能の上達過程) (運動やスポーツの技能と体力の関係)	・ 作戦や状況に応じた技能や仲間と連携してゲームが展開できるようにする。
3 学期	球技Ⅲ [個人的技能、集団的技能、ゲーム及び審判法] 【男子】 (バスケットボール・サッカー・卓球) 【女子】 (バレーボール・バドミントン・テニス) 体育理論 (運動やスポーツの活動時の健康・安全の確保の仕方)	・ 運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解できるようにする。
学習のポイント	1 自らの特性を生かしたり、伸ばしたりする上で、能力等に応じて運動を選び、その運動を得意にしていくなどして生涯スポーツの基礎づくりをしよう。 2 集団としての行動を秩序正しく、能率的に行えるようにしよう。(5分前行動) 3 互いに協力して自己責任を果たそう。	
備考		

評価の観点	関心・意欲・態度	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう自ら進んで運動しようとしている。公正、協力、責任などの態度を身に付けようとしている。健康・安全に留意して運動をしようとしている。	
	思考・判断・表現	自己やグループの能力と運動の特性に応じた課題の解決を目指して、活動の仕方を考え、工夫している。	
	技能	自己の能力と運動の特性に応じた課題の解決を目指して運動を行うとともに、運動の技能を高めている。自己の体力や生活に応じた体力を高めるための合理的な行い方を身に付けている。	
	知識・理解	社会の変化とスポーツ、運動技能の構造と運動の学び方、体ほぐしの意義と体力の高め方に関する基礎的な事項を理解し、知識を身に付けている。	

定期考査 実施予定	1学期中間	1学期末	2学期中間	2学期末	学年末
--------------	-------	------	-------	------	-----

評価方法	出席状況、授業態度、運動の技能、体育理論の理解度等を総合的に評価する。 ○ 出席状況、授業態度・意欲 (授業の参加状況、意欲的でまじめな態度) ○ 運動の技能 (各種運動の技能の習熟度、審判法の理解度) ○ 体育理論の理解度 (理解度の確認テスト)
------	---

保健体育

科目名	単位数	学科	学年
保健	1単位	畜産科	2年

教科書	最新高等保健体育 [改訂版] (大修館)	副教材	
-----	----------------------	-----	--

科目の目標	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てさせる。
-------	---

	学 習 項 目	学 習 の ね ら い
1 学期	2単元 生涯を通じる健康 思春期と健康 性への関心・欲求と性行動 妊娠・出産と健康 避妊法と人工妊娠中絶 結婚生活と健康 中高年期と健康	・生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理や環境づくりについて理解を深める。
2 学期	2単元 生涯を通じる健康 医薬品とその活用 医療サービスとその活用 保健サービスとその活用 さまざまな保健活動や対策 3単元 社会生活と健康 大気汚染と健康 水質汚濁、土壌汚染と健康 環境汚染を防ぐ取り組み	・保健・医療制度や機関の適切な活用、医薬品の正しい使用方法を理解する。 ・環境汚染の防止及び改善策の必要性を理解する。
3 学期	3単元 社会生活と健康 ごみ処理と上下水道の整備 食品の安全を守る活動 働くことと健康 働く人の健康づくり	・環境と食品の安全性、労働災害防止のための健康管理や安全管理について理解する。
学習のポイント	1 心身の健康課題や健康に対する考え方の変化に対応するため、新聞・ニュース等に関心を持ちよく見よう。 2 教科書・ノートは忘れず持参し、板書等はノートに必ず取ろう。 3 提出物は期限を守り、確実に提出しよう。	
備考		

評価の観点	関心・意欲・態度	個人生活や社会生活における心身の健康や安全に関心をもち、自ら健康で安全な生活を実践するため、意欲的に学習に取り組もうとしている。
	思考・判断・表現	個人生活や社会生活における心身の健康や安全に関する課題の解決を目指して、科学的に思考し、総合的にとらえることにより、適切な意志決定を行い、選択すべき行動を適切に判断している。
	技能	
	知識・理解	健康・安全の意義を理解するとともに、現代社会と健康、生涯を通じる健康及び社会生活と健康について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解し、知識を身に付けている。

定期考査 実施予定	1学期中間	1学期末	2学期中間	2学期末	学年末
		○		○	○

評価方法	定期考査、ノート提出、授業態度等を総合的に評価する。 ○ノート提出 (予習・復習及び整理状況の確認) ○授業態度 (まじめな態度、積極的な発表) ○課題・レポート提出 (日常の課題及び長期休業中の課題)
------	--

芸 術

科目名	単位数	学科	学年
音楽I	2単位	農業科(畜産科)	2年

教科書	音楽I Tutti改訂版(教育出版)	副教材	なし
-----	--------------------	-----	----

科目の目標	音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。
-------	--

	学 習 項 目	学 習 の ね ら い
1 学 期	歌唱 ハナミズキ、旅立ちの時、楓 器楽 ギターアンサンブル、夢の中へ、チェリー 楽典 音名について 発表会	・積極的に歌い、イメージを表現する。 ・基本的な奏法を学ぶ。 ・音楽の基本的な内容を身につける。
2 学 期	鑑賞 ロマン派の音楽(シューベルト、ショパン、リストなど) 歌唱 クラスの合唱曲 器楽 篠笛 発表会	・クラシック音楽に触れ、曲の特徴を知る。 ・クラスで協力して一つの作品を仕上げる。 ・日本の楽器に挑戦する。
3 学 期	鑑賞 ロマン派の音楽 (ブラームス、チャイコフスキー、プッチーニ) 創作 カノンコードを使った創作 器楽 リコーダーアンサンブル 発表会	・それぞれの特徴について知る。 ・積極的に創作する。 ・アンサンブルの楽しさを知る。
学 習 の ポ イ ン ト	1 基本的な楽譜の読み方や書き方、演奏に対して、しっかり学び、できることを増やそう。 2 すべての領域において主体性、積極性を持って活動しよう。 3 表現する楽しさや合わせる楽しさを感じ、音楽的な視野を広げよう。	
備考		

評 価 の 観 点	関心・意欲・態度	音楽の幅広い活動を通して、音楽を愛好し、音や音楽に興味・関心を持つとともに、意欲的に活動しようとしているか。
	思考・判断・表現	感性を働かせて、音楽の諸要素を知覚し、音楽のよさや美しさを感じ取って創造的な音楽活動の工夫ができていないか。
	技能	自己解釈やイメージを表現するための技能を身につけ、それを生かして創造的に表現することができていないか。
	知識・理解	多様な音楽の構成要素を感じ取り、歴史的背景とともに音楽の理解を深め、創造的に鑑賞等できていないか。

定期考査 実施予定	1学期中間	1学期末	2学期中間	2学期末	学年末
--------------	-------	------	-------	------	-----

評価方法	授業内の小テスト(筆記)、実技テスト、ノート・ファイル提出、授業態度等を総合的に評価する。 ○ ファイル(プリントの確認) ○ ノート(小テストの訂正など) ○ 確認テスト(各学期末に授業内で実施) ○ 課題提出(長期休業中の課題) ○ 授業態度(まじめな態度、積極性、発表会、練習態度)
------	---

芸 術

科目名	単位数	学 科	学 年
美術 I	2単位	農業科 (畜産科)	2年

教科書	美術1 (光村図書)	副教材	
-----	------------	-----	--

科目の目標	芸術の幅広い活動を通して、生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、芸術の諸能力を伸ばし、芸術文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。
-------	--

	学 習 項 目	学 習 の ね ら い
1 学 期	絵画 基礎、等角投影図法 鑑賞 ダ・ヴィンチ	<ul style="list-style-type: none"> ・技法を習得し、表現する。 ・イメージを膨らませ、形にする。
2 学 期	デザイン 色彩構成 (シエル構造を使って)	<ul style="list-style-type: none"> ・色彩の要素を学び、デザインする。 ・着彩の仕方を学び表現する。
3 学 期	彫塑 動物を表現する 鑑賞 舟越桂	<ul style="list-style-type: none"> ・道具の使い方を学ぶ。 ・立体表現のおもしろさに気づく。
学 習 の ポ イ ン ト	1 様々な技法を習得し、思い通りに表現できるようにしよう。 2 自分の考えているイメージを形にしよう。 3 様々な作品のよさを発見し言葉にして伝えよう。	
備考		

評 価 の 観 点	関心・意欲・態度	美術に関心を持ち、積極的に授業に取り組み、意欲的に表現し鑑賞することができる。
	思考・判断・表現	作品の主題を理解し、アイデアやイメージを膨らませ、表現の方法を工夫することができる。
	技能	技能を習得し、表現することができる。
	知識・理解	授業の内容を習得し、芸術文化への理解を深めている。鑑賞を通して感性を高め表現することができる。

定期考査	1学期中間	1学期末	2学期中間	2学期末	学年末
実施予定					

評 価 方 法	作品、ノート提出、授業態度等を総合的に評価する。 ○授業プリントの提出 (授業内容の理解の確認) ○授業態度 (真面目な態度、積極的な発表など) ○課題提出 (日常の課題及び長期休業中の課題) ○鑑賞プリントの提出
---------	---

外国語（英語）

科目名	単位数	学科	学年
コミュニケーション英語 I	2単位	畜産科	2年

教科書	JOYFUL English Communication I (数研出版)	副教材	
-----	---------------------------------------	-----	--

科目の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図る。 ・情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりするコミュニケーション能力を養う。
-------	--

	学 習 項 目	学 習 の ね ら い
1 学 期	Lesson 10 Three Days to See ヘレン・ケラーのエッセイ『目の見える三日間』について考える For Reading Malala's Voice to the World パキスタンの少女、マララ・ユスフザイさんのスピーチを読む。	仮定法過去 分詞構文
2 学 期	文法の復習（問題集）	動詞、様々な文、助動詞、 進行形、受け身、完了形、 不定詞、動名詞、比較、
3 学 期	英語に親しむ（問題集）	関係代名詞、関係副詞
学 習 の ポ イ ン ト	1 教科書の内容が理解できる。 2 「学習のねらい」の文法を使って、身の回りのことを英語で表現できる。 3 辞書やノートを繰り返し活用して、英語で考えることができる。	
備 考		

評 価 の 観 点	コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	コミュニケーションに関心を持ち、積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。			
	外国語表現の能力	簡単な英語で話したり書いたりして、情報や考えなどを相手に伝えている。			
	外国語理解の能力	英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。			
	言語や文化についての 知識・理解	背景にある文化などを理解している。			

定 期 考 査	1学期中間	1学期末	2学期中間	2学期末	学年末
実 施 予 定	○	○	○	○	○

評 価 方 法	定期考査、ノート提出、授業態度等を総合的に評価する。 ○ ノート提出（予習・復習及び整理状況の確認） ○ 授業態度（まじめな態度、積極的な発表） ○ 小テスト、課題提出（日常の課題及び長期休業中の課題）
---------	--

家 庭

科目名	単位数	学科	学年
家庭総合	2単位	農業科(畜産科)	2年

教科書	家庭総合 自立・共生・創造(東京書籍)	副教材	調理実習ノート・家庭科ノート (愛媛県高等学校家庭科教育研究会)
-----	---------------------	-----	-------------------------------------

科目の目標	人の一生と家族・家庭・子どもや高齢者との関わりと福祉、消費生活、衣食住などに関する知識と技術を総合的に修得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。
-------	--

	学 習 項 目	学 習 の ね ら い
1 学期	第6章 食生活をつくる (実習) 調理実習・技術検定食物調理4級 ホームプロジェクトの説明	・栄養、調理等について科学的に理解する。 ・食生活を営む上で必要な知識と技術を身に付ける。
2 学期	ホームプロジェクト(夏休み) 第6章 食生活をつくる 第5章 経済生活を営む (実習) 調理実習	・食生活の文化を学ぶ。 ・生活における経済の計画、消費者問題や消費者の権利と責任について理解する。
3 学期	第5章 経済生活を営む 第8章 住生活をつくる (実習) 調理実習	・消費者としての適切な意思決定に基づいて、責任をもって行動できるようにする。 ・住居の機能、住空間の計画、住環境を理解する。
学習の ポイント	1 将来の生活設計を考え、今の家庭生活に興味を持とう。 2 家族の一員としての役割を果たすために、家族との会話を大切にしよう。 3 基礎的・基本的な知識と技術を定着させるために、積極的に家事を手伝おう。 4 実践力を養うために検定やホームプロジェクト、家庭クラブ活動に参加しよう。	
備考		

評価の 観点	関心・意欲・態度	・授業に関心を持ち積極的に学ぶとともに、各分野において、技術習得に意欲的であるかを評価する。
	思考・判断・表現	・学習したことをもとに、家庭や地域の生活について課題を見出し、その解決を目指して思考を深めているかを評価する。
	技能	・各分野において必要な基礎的・基本的な技術を身に付けているかを評価する。
	知識・理解	・家庭生活の意義や役割を理解し、各分野において必要な基礎的・基本的な知識を身に付けているかを評価する。

定期考査 実施予定	1学期中間	1学期末	2学期中間	2学期末	学年末
		○		○	○

評価方法	定期考査、ノート提出、授業態度等を総合的に評価する。 ○ ノート提出(整理状況の確認) ○ 授業態度(まじめな態度、積極的な発表) ○ 小テスト(単元ごとの確認テストなど) ○ 課題提出(日常の課題及び長期休業中の課題)
------	--

農 業

科 目 名	単 位 数	学 科	学 年
総合実習	3単位	農業科 (畜産科)	2 年

教科書	なし	副教材	なし
-----	----	-----	----

科目の目標	農業の各分野に関する体験的な学習を通して、総合的な知識と技術を習得させ、経営と管理についての理解を深めさせるとともに、企画力や管理能力などを身に付け、農業の各分野の改善を図る実践的な能力と態度を育てる。
-------	---

	学 習 項 目	学 習 の ね ら い
1 学 期	1 専攻別実習 ・大家畜 乳牛の体の特徴や日常の管理方法について ・中小家畜 豚や鶏の体の特徴や日常の管理方法について ・栽培 土作りや野菜・草花の日常の管理方法について ※各専攻班でプロジェクト活動の実施	・各専攻班の管理ができる。 ・プロジェクト活動に意欲的に取り組むことができる。
2 学 期	2 専攻別実習 ・大家畜 飼料作物の栽培と調整について ・中小家畜 豚・鶏の繁殖・育成等の飼養管理方法について ・栽培 タマネギ苗や草花の栽培管理方法について ※各専攻班でプロジェクト活動のまとめ、発表	・各専攻班の管理ができる。 ・プロジェクト活動のまとめ発表ができる。
3 学 期	3 専攻別実習 ・大家畜 乳牛の毛刈りや調教について ・中小家畜 ポニー等の小動物の管理方法について ・栽培 野菜苗の栽培と管理方法について ※各専攻班でプロジェクト活動レポートの作成	・各専攻班の管理ができる。 ・プロジェクト活動の評価、課題を見つけることができる。

学 習 の ポ イ ン ト	1 総合実習は動植物を扱う科目です。適切な管理方法を身に付けよう。 2 服装は実習服を着用して行います。服装の不備は怪我につながるのできちんとしよう。 3 農場での記録もありますので筆記用具と野帳を必ず準備しよう。 4 危険を伴う実習もありますので先生の説明をよく聞き、機器の使い方を理解した上で、実習に取り組もう。 5 プロジェクト活動に積極的に取り組むよう。
---------------------------------	---

備考	1単位は放課後、土日、祝祭日、長期休業中に実施する。
----	----------------------------

評 価 の 観 点	関心・意欲・態度	実習態度、出席状況を評価します。また、実習報告書を点検し、評価します。
	思考・判断・表現	農業実習において基礎的な知識を身につけ、適切な判断ができたか評価します。
	技能	実習内容を理解し、効率よく実習ができる技能が身についたか評価します。
	知識・理解	定期考査及び農業鑑定競技を実施し、農業現場で実際に役立つ知識が習得できたか評価します。

定 期 考 査	1 学期中間	1 学期末	2 学期中間	2 学期末	学 年 末
実 施 予 定		○		○	○

評 価 方 法	定期考査、実習報告書、行事報告書、課題提出、出席状況等を総合的に評価する。
---------	---------------------------------------

農 業

科 目 名	単 位 数	学 科	学 年
農業情報処理	2単位	農業科 (畜産科)	2 年

教 科 書	農業情報処理 (実教出版)	副 教 材	Excel で学ぶ全商情報処理検定テキスト3級
-------	---------------	-------	-------------------------

科目の目標	社会における情報化の進展と情報の意義や役割を理解させ、情報に関する知識と技術を習得させるとともに、農業情報及び環境情報を主体的に活用する能力と態度を育てる。
-------	--

	学 習 項 目	学 習 の ね ら い
1 学 期	1 表計算ソフトウェアの利用	<ul style="list-style-type: none"> ・表計算ソフトウェアの利用分野を知る。 ・表計算ソフトウェアの利用技術の習得
2 学 期	2 データベースソフトウェアの利用 3 図形処理ソフトウェアの利用	<ul style="list-style-type: none"> ・データベースソフト利用分野を知る。 ・データベースソフトウェアの利用技術の習得 ・図形処理ソフトウェアの利用技術の習得
3 学 期	4 プレゼンテーションソフトの利用 5 Webページの作成	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーションソフトの利用技術の習得 ・Webページの作成技術の習得
学習の ポイント	1 「農業情報処理」は、他の全教科の基本ともなるべき教科であり、これからの情報化社会を生き抜いていくために必要不可欠な科目です。 2 知識のみでは情報活用はできません。1年次の学習をもとに実習をとおして各ソフトウェアについてより理解を深め、応用力と実践力を身に付けていくことが大切です。	
備考		

評 価 の 観 点	関心・意欲・態度	学習や資格取得への取り組み等について授業態度や出席状況、課題の提出等で評価します。				
	思考・判断・表現	情報を処理する場合に、方法の工、目的に応じて工夫しているかを授業の状況や実技テストで評価します。				
	技能	コンピュータの操作や情報処理技術などを活用できているかを授業の状況や実技テストで評価します。				
	知識・理解	情報を適切に収集・処理するための知識を身につけ、ソフトウェアの活用方法を理解し、実践できているかを定期考査や実技テスト、課題等で評価します。				
定 期 考 査 実 施 予 定	1 学期中間	1 学期末	2 学期中間	2 学期末	学年末	
	○	○	○	○	○	
評 価 方 法	定期考査、課題提出、授業態度等で総合的に評価します。					

農 業

科 目 名	単 位 数	学 科	学 年
野菜	2単位	農業科 (畜産科)	2 年

教 科 書	野菜 (実教出版)	副 教 材	なし
-------	-----------	-------	----

科目の目標	野菜の生産と経営に必要な知識と技術を習得させ、野菜の特性や生産に適した環境を理解させるとともに、品質と生産性の向上及び経営の改善を図る能力と態度を育てる。
-------	---

	学 習 項 目	学 習 の ね ら い
1 学 期	1 野菜の生育特性と栽培環境の調節技術 (1)野菜の生育と生理 (2)野菜の栽培環境と生育調節 2 果実を利用する野菜の栽培 (1)トマト (2)スイカ (3)ナス (4)ピーマン (5)スイートコーン	<ul style="list-style-type: none"> ・野菜の定義を理解する。 ・野菜の栽培技術を身に付けさせる。
2 学 期	3 葉や茎や根を利用する野菜の栽培 (1)ダイコン (2)ホウレンソウ (3)ブロッコリー (4)タマネギ (5)ハクサイ 4 野菜の育苗 (1)育苗の目的と方法 (2)育苗技術実際と応用 (3)床土とそのつくり方 (4)種まきと育苗管理	<ul style="list-style-type: none"> ・栽培技術の向上を図る。
3 学 期	5 野菜の流通と経営改善 (1)野菜の流通と鮮度保持 (2)野菜生産の経営改善と課題。 6 肥料計算 7 倍率計算 8 面積計算	<ul style="list-style-type: none"> ・生産物の流通について学ぶ。 ・栽培上の基礎知識を確認する。
学 習 の ポ イ ン ト	1 実践的・体験的な学習が多く、実習を伴うため、実習服の着用が必要です。 2 物質循環機能を生かし、環境と調和した農業生産を心掛けよう。 3 新鮮・良質・安全な食料供給を考えよう。	
備 考		

評 価 の 観 点	関心・意欲・態度	常に関心を持ち、意欲的に取り組む態度が身についているかを出席・授業態度・実習態度(身だしなみを含む)等で評価します。
	思考・判断・表現	実習の内容を的確に理解できる力と判断力が備わっているか。実習、報告書、提出物等で評価します。
	技能	安全面を十分に注意しつつ円滑な作業・操作ができているかを、実習、提出物で評価します。
	知識・理解	野菜の特性や栽培技術を理解し知識としてなっているかを、定期考査、レポート、小テストで評価します。

定 期 考 査	1 学期中間	1 学期末	2 学期中間	2 学期末	学 年 末
実 施 予 定	○	○	○	○	○

評 価 方 法	定期考査、ノート提出、授業態度等を総合的に評価する。 ○ノート提出(授業内容の理解のための確認) ○授業態度・自習態度(まじめな態度、自主性、記録簿も評価) ○課題提出(夏期・冬期休業中の課題レポートを評価する。
---------	---

農 業

科 目 名	単 位 数	学 科	学 年
草花	2単位	農業科 (畜産科)	2 年

教 科 書	草花 (実教出版)	副 教 材	なし
-------	-----------	-------	----

科目の目標	草花の生産と経営に必要な知識と技術を習得させ、草花の特性や生産に適した環境を理解させるとともに、品質と生産性の向上及び経営の改善を図る能力と態度を育てる。
-------	---

	学 習 項 目	学 習 の ね ら い
1 学 期	1 草花の生産と流通 2 草花生産と消費の動向 3 草花の特性と栽培技術 4 菊の栽培 (1)挿し木 (2)鉢上げ (3)3本仕立て (4)整枝	<ul style="list-style-type: none"> ・草花生産は消費者ニーズに影響されることを理解する。 ・草花の分類を知る。 ・草花経営の特徴を理解する。 草花の生産動向、消費動向、流通を知る。 ・菊の栽培技術を身に付ける。
2 学 期	(5)花芽分化 (6)輪台作り (7)仕立て・仕上げ 5 花壇用草花生産 ・パンジー ・ビオラ ・ハボタン	<ul style="list-style-type: none"> ・花壇用草花の特性、花壇用草花経営の特性を理解する。 ・花壇用草花に求められる課題を理解する。 ・主な花壇用草花の管理、技術を習得する。
3 学 期	6 生活と草花の利用 7 草花経営の改善	<ul style="list-style-type: none"> ・草花生産の省力化及び改善する能力と態度を身に付ける。 ・草花経営改善の実際の事例について学び、改善策について考える。

学 習 の ポ イ ン ト	1 授業中に理解できなかったことは、そのままにしないで積極的に質問してください。 2 ノートやファイルは板書事項を写すだけでなく、自分で考えたことや疑問に思ったことをメモしておく、後に役立ち、学習に広がりが見られます。 3 実習では実習内容のメモをとることが大切です。また、実習服に着替え、農具を使用するので安全作業にも気をつけてください。
---------------------------------	--

備考	
----	--

評 価 の 観 点	関心・意欲・態度	学習や実習への取り組みについて授業・実習態度や出席状況、報告書で評価します。
	思考・判断・表現	草花の栽培に関して適切な判断や工夫ができるかを実習状況や報告書で評価します。
	技能	実習の内容を理解し、能率よく作業ができる技術が身につく、多様な実習に幅広く対応して確実に実習ができているかを実習状況や報告書、課題等で評価します。
	知識・理解	草花栽培技術、生活の中での草花の重要性や、栽培に適した環境等について理解しているかを定期考査、課題等で評価します。

定 期 考 査	1学期中間	1学期末	2学期中間	2学期末	学年末
実 施 予 定	○	○	○	○	○

評 価 方 法	定期考査、ノート提出、実習報告書提出、課題提出、授業態度等を総合的に評価する。
---------	---

農 業

科 目 名	単 位 数	学 科	学 年
畜産	4単位	農業科 (畜産科)	2 年

教 科 書	畜産 (実教出版)	副 教 材	なし
-------	-----------	-------	----

科目の目標	家畜の飼育と経営に必要な知識と技術を習得させ、家畜の特性や飼育環境を理解させるとともに、合理的な家畜管理と生産性の向上を図る能力と態度を育てる。
-------	--

	学 習 項 目	学 習 の ね ら い	
1 学 期	<p>(養豚)</p> <p>1 豚の特性 ・豚の習性と行動 ・生産物の特徴と利用</p> <p>2 豚の品種と選び方 ・豚の一生 ・豚の起源と養豚の歩み ・改良目標と審査登録 ・排糞、排尿の習性と豚舎</p>	<p>(酪農)</p> <p>1 乳牛の飼養管理 ・泌乳期の管理・搾乳実習</p> <p>2 家畜の消化器官と消化吸収 ・反すう家畜の消化・吸収 ・飼料の特性と給与</p> <p>3 乳牛の繁殖 ・発情の兆候と行動・分娩 ・人工授精</p>	<p>・豚の繁殖や肉豚の育成について基本的な知識を身につける。</p> <p>・飼料調製や飼料計算について基本的な知識を身につける。</p>
2 学 期	<p>3 養豚の施設・設備 ・肉豚の飼育形態と豚舎 ・母豚の飼育形態と豚舎</p> <p>4 豚の繁殖 ・子豚の生理と飼育技術 ・母乳による飼育 ・子豚の選び方</p>	<p>4 酪農の施設・設備とその利用</p> <p>5 乳牛の飼養管理 ・乳牛の発育段階とサイクル ・乳期の構造・牛乳生産の流れ ・牛乳の規格・乳質</p> <p>6 乳牛の病気と予防衛生 ・口蹄疫・牛白血病</p>	<p>・豚の飼育形態や繁殖について基本的な知識を身につける。</p> <p>・乳牛の飼養管理、牛乳生産、予防衛生について基本的な知識を身につける。</p>
3 学 期	<p>・発育段階別管理の要点 ・肉豚の飼育管理 ・発育と飼料・飼料給与 ・群編成・飼育環境と管理 ・近代養豚の歩み</p>	<p>7 肉牛の飼育 ・肉牛の特性・品種 ・肉質と飼養管理</p>	<p>・発育段階や飼養管理、給与について基本的な知識を身につける。</p> <p>・予防衛生と肉牛の飼育について基本的な知識を身につける。</p>
学 習 の ポ イ ン ト	<p>1 乳牛や豚など家畜の飼育の方法を学ぶ科目です。</p> <p>2 家畜と直接ふれあって習性や飼育方法を学びましょう。</p> <p>3 繁殖をさせなければ乳・肉・卵などの生産物は出来ません。繁殖についてしっかり学びましょう。また、生産物を有利に販売する方法についても学び、経営者能力を身に付けましょう。</p>		
備 考			

評 価 の 観 点	関心・意欲・態度	畜産について興味を持って意欲的に取り組んでいるか、授業態度、ノートへの記入状況を点検し、評価します。
	思考・判断・表現	畜産の授業を通して、基礎的な知識を身に付け適切な判断ができているか定期考査により評価します。
	技能	授業内容を理解し、知識・技能が身に付いているか、定期考査により評価します。
	知識・理解	畜産についての知識を学習し理解できているか。定期考査、ノートへの記入状況を点検し評価します。

定 期 考 査	1 学期中間	1 学期末	2 学期中間	2 学期末	学 年 末
実 施 予 定	○	○	○	○	○
評 価 方 法	定期考査、ノート提出、授業態度等を総合的に評価する。				

農 業

科 目 名	単 位 数	学 科	学 年
農業経営	2単位	農業科 (畜産科)	2 年

教 科 書	農業経営 (実教出版)	副 教 材	なし
-------	-------------	-------	----

科目の目標	農業経営の設計と管理に必要な知識と技術を習得させ、コスト管理とマーケティングの必要性を理解させるとともに、経営管理の改善を図る能力と態度を育てる。
-------	---

	学 習 項 目	学 習 の ね ら い
1 学 期	第1章 農業の動向と農業経営 1 日本と世界の農業 (1)世界の農業の現状 (2)世界と日本農業の動向 (3)食料の自給と貿易 2 農業・農村と食料・環境 (1)農業・農村の機能と役割 (2)食料と農業	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の農業の現状を知る。 ・世界の食糧生産の現状を知る。
2 学 期	(3)農業と環境保全 (4)農業と地域社会 3 こんにちの農業経営 (1)持続的農業の進展と有機農産物 (2)農業経営の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の農業経営について理解する。 ・日本の農業経営組織を理解する。
3 学 期	第2章 農業経営の組織と運営 1 農業経営の主体と目標 (1)さまざまな農業経営(2)農業経営の目標 2 農業生産の要素 (1)生産と経営の要素(2)生産要素の特性と利用	<ul style="list-style-type: none"> ・農業法人について知り、理解する。 ・日本の農業を取り巻く状況を知る。 ・マーケティングを理解する。
学 習 の ポ イ ン ト	1 農業経営では、専門用語がたくさんあります。それぞれの用語を理解できるようにしましょう。 2 現在の国際経済の動向と授業を関連付けて学習に取り組みましょう。 3 日々の小テストを大切にして、学習の定着を図りましょう。	
備 考		

評 価 の 観 点	関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・毎時間確実にノートを取り、小テストに意欲的に取り組んでいる。 ・忘れ物をせず、提出物を期限までに提出できる。
	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・農業経営の実態を国際的視野にたって考え、判断できる。 ・用語を正しく理解し、自己の生活に当てはめて考えることができる。 ・学んだ知識を使い分け、自分の言葉で表現できる。
	技能	<ul style="list-style-type: none"> ・農業に関する統計や図表から情報を的確に読み取ることができる。
	知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査や小テストにおいて、農業の動向や農業経営の現状についての知識が身に付き 理解が進んでいる。

定 期 考 査	1 学期中間	1 学期末	2 学期中間	2 学期末	学 年 末
実 施 予 定	○	○	○	○	○

評 価 方 法	定期考査、授業ノート提出、課題提出、授業態度等を総合的に評価する。
---------	-----------------------------------